

* 米国本社リリース参考訳

* 公式リリースは[P & G米国本社サイト](#)をご覧ください。

P & G 2024/25事業年度 第4四半期(4-6月期)業績

第4四半期：純売上高 2%増、本源的売上高 2%増、希薄化後 1株当たり純利益 17%増、1株当たり中核利益 6%増

通期：純売上高 0%増、本源的売上高 2%増、希薄化後 1株当たり純利益 8%増、1株当たり中核利益 4%増

2025年7月29日 米国シンシナティ発

ザ・プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー(NYSE:PG)は、2025事業年度第4四半期と通期の業績を発表しました。

取締役会会長、社長兼最高経営責任者(CEO)ジョン・モラーは、「当社は、2025事業年度において、大きく変動し、厳しく、不確定なビジネスの環境の中で、増収増益を達成し、株主の皆様への高水準の資金還元をもたらしました。当社は、この経済環境下で、すべてのステークホルダーに対し、引き続き力強い事業計画を示しています。2026年事業年度に、当社は、力強い本源的売上高の成長、1株当たり利益の成長、調整済フリーキャッシュフロー生産性の達成が再びできるものと期待しています。当社は、性能が消費者のブランド選択を決定づける日用品カテゴリーへの製品ポートフォリオの集中や、製品性能、パッケージ、ブランドのコミュニケーション、店頭展開、消費者および流通パートナーへの付加価値全体にわたる優位性、生産性の向上、建設的な破壊、鋭敏で責任ある組織の形成という統合的な成長戦略の実行に、引き続き専念しており、それらすべては持続可能でバランスの取れた成長と価値創造を実現することを目指しています。」と述べています。

単位：十億ドル、ただし1株当たりの数値を除く

通期							
米国会計基準	2025年度	2024年度	%増減	会計基準外	2025年度	2024年度	%増減
純売上高	\$84.3	\$84.0	—%	本源的売上高	—	—	2%
希薄化後1株当たり利益	\$6.51	\$6.02	8%	1株当たり中核利益	\$6.83	\$6.59	4%

単位：十億ドル、ただし1株当たりの数値を除く

第4四半期(4-6月期)							
米国会計基準	2025年度	2024年度	%増減	会計基準外	2025年度	2024年度	%増減
純売上高	\$20.9	\$20.5	2%	本源的売上高	—	—	2%
希薄化後1株当たり利益	\$1.48	\$1.27	17%	1株当たり中核利益	\$1.48	\$1.40	6%

* 定義と、その関連のある米国会計基準上の指標との差異説明は、添付書類1：米国会計原則で規定されない財務指標をご参照ください。

2025事業年度通期の業績

当社は、2025事業年度通期の純売上高が、前年同期比と同水準の843億ドルであったと発表しました。1%の価格改定の影響が、1%の不利な為替レートで相殺されました。すべてを

含めた販売数量は、前年同期比同水準でした。事業の買収・売却の影響と為替レートの影響を除いた本源的売上高は、2%増加しました。価格改定と本源的販売量は、本源的売上高の成長にそれぞれ1%寄与しました。ミックスの影響は、前年と比べて同水準でした。

希薄化後1株当たり純利益は、当年度に販売費及び一般管理費が減少し、前年度に発生した「ジレット」の商号などの無形資産の帳簿価額に対する現金支出を伴わない13億ドル(税引後10億ドル)に上る減損損失が当年度発生しなかったことが、当年度の非中核の組織再編費用により、一部相殺され、前年に比べ8%増加の6.51ドルとなりました。1株当たり中核利益は、4%増加して6.83ドルになりました。為替レートの影響を除く1株当たり中核利益は、前年に対して4%増加しました。

当社の営業キャッシュフローは178億ドルで、通期の純利益は161億ドルでした。設備投資支出とアルゼンチンでの事業の潜在的な清算に起因する累積の外国為替換算損失から生じた現金支出を伴わない損失など、特定のその他の事項を差し引いた調整済フリーキャッシュフロー生産性は87%でした。

当社は、2025事業年度を通じて、99億ドルの配当金と65億ドルの自社株式の買い戻しにより、合計160億ドル超を株主の皆様へ還元しました。2025年4月の増配で、P & Gは、69年連続の増配と、1890年の株式会社化以来、135年連続の配当を記録しています。

4-6月期の業績

当社は、2025事業年度第4四半期の純売上高が、前年同期に対し2%増加の209億ドルであったと発表しました。事業の買収・売却の影響と為替レートの影響を除いた本源的売上高も、2%増加しました。価格改定とミックスの好影響が売上高の増加にそれぞれ1%寄与しました。販売数量と為替レートは、当四半期の売上高成長に影響を与えませんでした。

希薄化後1株当たり純利益は、主として、前年度に実施したナイジェリアを含む特定のエンタープライズ市場での潜在的な事業清算に関連する組織再編費用が当年度に発生しなかったことにより、前年同期に対し17%増加して1.48ドルになりました。1株当たり中核利益は、6%増加して1.48ドルになりました。為替レートの影響を除く1株当たり中核利益は、前年同期に対して5%増加しました。

当四半期の営業キャッシュフローは50億ドル、純利益は36億ドルで、調整済フリーキャッシュフロー生産性は110%でした。

各事業セグメントの4-6月期について

2025年4-6月期	販売	為替	価格				本源的	本源的
純売上高増減要因(1)	数量	レート	改定	ミックス	その他(2)	純売上高	販売量	売上高
ビューティー事業	1%	-1%	1%	-1%	—%	—%	1%	1%
グルーミング事業	—%	—%	4%	-1%	-1%	2%	-1%	1%
ヘルスケア事業	-2%	—%	1%	3%	—%	2%	-2%	2%
ファブリック& ホームケア事業	—%	1%	1%	—%	—%	2%	—%	1%
ベビー、フェミニン& ファミリーケア事業	—%	1%	1%	—%	—%	2%	—%	1%
P & G 全体	—%	—%	1%	1%	—%	2%	—%	2%

(1) これらの純売上高に係る増減割合は、継続的に適用している計算方法に基づく概算値です。

(2) その他には事業の買収・売却による売上ミックスの影響、販売数量と純売上高との差異分析に欠かせない端数処理が含まれています。

- ビューティー事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ1%増加しました。ヘアケア部門の本源的売上高は、ラテンアメリカとヨーロッパでの製品イノベーションによる増加が、北米と中国での販売数量の減少で相殺され、前年同期比同水準でした。パーソナルケア部門の本源的売上高は、北米での販売数量の増加が、不利な地域ミックスによる悪影響で一部相殺され、一桁台前半の増加となりました。スキンケア部門の本源的売上高は、中国での販売数量の増加が、北米での販売数量の減少と不利なミックスで相殺され、前年同期と同水準でした。
- グルーミング事業セグメントの本源的売上高は、製品イノベーションを根拠とした価格改定が電化製品部門の販売数量の減少で一部相殺されて、前年と比べて1%増加しました。
- ヘルスケア事業セグメントの本源的売上高は、前年と比べ2%成長しました。オーラルケア部門の本源的売上高は、プレミアム製品の製品イノベーションに起因する製品ミックスにより、一桁台前半の増加となりました。パーソナルヘルスケア部門の本源的売上高は、価格改定により増加したものの、北米で風邪の流行が前年ほどではなかったことによる販売数量の減少で一部相殺されて、一桁台前半の増加となりました。
- ファブリックケア&ホームケア事業セグメントの本源的売上高は、前年と比べて1%増加しました。ファブリックケア部門の本源的売上高は、主に北米での製品イノベーションに起因する成長により、一桁台前半の増加となりました。ホームケア部門の本源的売上高も、北米とヨーロッパでの成長に起因する成長により、一桁台前半の増加となりました。
- ベビー、フェミニン&ファミリーケア事業セグメントの本源的売上高は、1%増加しまし

た。ベビーケア部門の本源的売上高は、北米での販売数量の減少のため、一桁台前半の減少となりました。フェミニンケア部門の本源的売上高は、価格改定と有利な製品ミックスによる効果により、一桁台前半の増加となりました。ファミリーケア部門の本源的売上高は、販売数量の増加により、一桁台前半の増加となりました。

2026事業年度通期の見通し

P & Gは、2025事業年度通期のすべてを含めた純売上高が前年度比1~5%の範囲で増加すると見込んでいます。この見通しには、為替レートと事業の買収・売却の影響からもたらされる1%の好影響が含まれます。当社は、本源的売上高成長率が増減なしから+4%の範囲に収まるものと予想しています。

P & Gについて

P & Gは、高い信頼と優れた品質で、市場をリードする製品ブランドを世界中の人々にお届けしています。それらのブランドには、オールウェイズ®、アンビピュア®、アリエール®、バウンティ®、シャーミン®、クレスト®、ドーン®、ダウニー®、フェアリー®、ファブリーズ®、ゲイン®、ジレット®、ヘッド&ショルダーズ®、レノア®、オレイ®、オーラルB®、パンパース®、パンテーン®、SK-II®、タイド®、ヴィックス®、ウイスパー®などが含まれます。P & Gは約70カ国に現地事業拠点を置き、世界的に事業を展開しています。P & Gとその製品について、最新の詳しい情報は、米国本社ホームページ<https://us.pg.com>(英語)をご参照ください。その他のP & Gのニュースについては、<https://us.pg.com/blogs>(英語)をご参照ください。